

チュートリアル課題 そろそろ二人目を

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-07-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31207

2011年度 Block. 6

課 題 No.1

課題名：そろそろ二人目を

課題作成者：産婦人科学

橋本 和法

シート1

山田由美子さんは30歳の主婦でパートでデザイナーをしています。27歳で長男の祐介君を出産し、そろそろ二人目の子供がほしいと思っていますがなかなか妊娠しません。また、もともとあった生理痛が最近はだんだんひどくなってきました。そこで、近くの産婦人科を受診し、まず問診票を記入しましたが、記入したこと以外にもいくつか質問を受けた後、診察となりました。

シート2

由美子さんは診察の後、「なかなか妊娠しない原因についていくつか検査をしてみましょう。このパンフレットに書いてあるように、月経周期のなかで検査を行う適切な時期がありますのでこれから予定を立てましょう。また、今日診断した生理痛の原因となっている病気との関連も調べていきましょう。」と言われました。

シート3

由美子さんは検査結果から今後の治療方針についての説明を受け、早く妊娠したほうがいろいろな意味でいいのだと理解しました。そして程なく生理が遅れ、胃のあたりがむかむかしていたので市販の妊娠検査試薬で検査をしたところ陽性でした。そこでふたたびかかりつけの産婦人科を受診しました。

先生からは「おめでとうございます。妊娠していますね。ここが子宮で赤ちゃんが見えますよ。」といわれ超音波の写真をもらいました。また「次の受診までに、母子健康手帳をもらっておいてください。」とも言われました。

シート4

由美子さんは妊娠18週となりましたが、出血はないのですがよくおなかが痛くなります。定期健診の時、先生にそのことを話すと「痛みの場所からは、原因として子宮内膜症ではなく子宮筋腫のほうから来ているのではないかと考えます。子宮筋腫はこれからの妊娠経過の上でも気をつけなければいけない点がいくつかあります。」といわれ、その一つ一つについて説明を受けました。心配になりましたが、その時に気をつけることや、病院としてどう対応するかの説明を受け少し安心しました。